

## ●できたてアツアツ食べ飲み歩き路地のまち 観音寺

観音寺市（かんおんじし）は香川県西端、瀬戸内海の燧灘（ひうちなだ）に面したまちである。奈良時代に神宮寺（今の観音寺）住職によって琴弾八幡宮が鎮座されて以来の長い歴史を持つ。お遍路さんが巡礼する四国八十八札所のうち2つが、隣り合って存するまちでもある。

観音寺市中心市街地の路地では、讃岐うどんは当然として、地元の海産物を食べながら歩くことが最大の売りといえよう。しかも加工場がそこにあって出来たてのものが食べられる路地は、他にはあまりないのではないか。

路地歩きはエプロンガイドさん付き、500円でチケットを購入。まず酒屋に寄って地酒「銭形」ワンカップサイズをゲットし、徒歩少いで蒲鉾工場に到着。そこで揚げたてアツアツ丸天（すり身に海老が入ったもの）をハーフハーフとほおばり、次には海産物店に入り込んで、潮味の利いた名産イリコや太刀魚、チリメンなどをあれこれ試食。そして路地歩き極楽飲兵衛と化した我々の仕上げに待つのはエビセン。これがむき身のエビにでんぷん粉をまぶしたものを鑄鉄の手焼き器でフチユツと押さえてサクッと焼き上げる職人技。これがオール込みガイド付きで500円とは安すぎる！1時間ほどの路地歩きのコースは、ああもっと歩きたいと思ったところで、あっという間にタイム・アップ。

路地や建物のことは何も書かずに終わったが、それは皆さんに行って見てほしい。他にもおいしいものがたくさんありますよ。

鈴木俊治（有限会社ハーツ環境デザイン・路地協会員）  
紹介者：高尾利文（第二計画部）

## ●国から地方への動きに期待

先月注目をあびた「事業仕分け」において、国交省のまちづくり関連事業は地方自治体などへ移管すべきだと判定された。地方移管の対象となったまちづくり関連事業のうち、要求額ベースで約7割を占めていたのが「まちづくり交付金」である。

まちづくり交付金は、交付を受ける市町村がまちづくりの目標や目標を定量化する数値指標を記載した都市再生整備計画を作成し、それに基づき必要な事業を実施し、事業期間終了時に目標の達成状況を評価するなど、PDCAサイクルを導入していることが特徴である。

都市再生整備計画や事後評価結果等は国への提出が必要となるが、国が直接お金を出さないということになれば、この一連の手続きもなくなってしまいうのだろうか。関連する仕事をしている立場からすれば、仕事のネタが一つなくなるわけだが、まちづくりが各自治体の判断に任せられるということは、現場の担当者としてサポートするわれわれコンサルタントの役割がますます重要になってくるのかもしれない。

政府の地方分権改革推進の検討においても、道路構造令をはじめとするさまざまな都市施設の技術的基準が条例委任の方向で動いており、国から地方へという流れは、われわれの業界にとって追い風になるのではと少しだけ期待しつつ、今後の動向に注目していきたい。

永元真也（第一計画部）

## ●ベトナムの都市構造と新幹線

最近、ベトナムでの高速鉄道建設における日本の新幹線方式の導入に関する記事が紙面を賑わせ、大きな話題となっています。今年8月にベトナム国鉄総裁が日本の新幹線方式を取り入れる方針を明らかにしたことが新聞に取り上げられ、また、先月ベトナム国首相が来日した際に、鳩山首相に同様の意向を明かにしたことが先週末の新聞に取り上げられていました。

日本で東海道新幹線が運行を開始したのは1964年。当時、日本は経済成長率が年平均10%を超える高度経済成長期の最中で、昨年は世界同時不況の影響により少し低下したものの、2004年から2007年に掛けて8%以上の経済成長率を記録した昨今のベトナムの状況とよく似ています。

一方、日本とベトナムの都市構造には大きな違いがあり、日本の最初の整備区間における東京－新大阪間には当時から東京特別区、名古屋市、京都市、大阪市など約550kmの区間に中・大規模都市(東京特別区で約900万人、大阪市約300万人)が集中していた一方、ベトナムの場合、都市人口約560万人のホーチミン市と約260万人のハノイ市が1,600km程離れて位置し、その間にはベトナム第4の都市であるダナン市(約70万人)がある以外には大きな都市はありません。

新幹線には、ハノイ、ホーチミンといった大都市と他の沿線都市との結び付きを強くし、双方の経済成長を促す効果が期待されますが、新幹線整備を効果的に更なる経済と都市の発展に繋げるためには、沿線都市の形成促進やそれらの都市との一体的な開発が重要な課題となりそうです。

坂井孝典(海外室)

◎この一年、ALMECホットニュースをご愛読いただき、誠にありがとうございました。2010年もまた、よろしく願い申し上げます。

---

発行責任者：代表取締役 庄山 高司  
事務局：株式会社アルメック 業務部  
東京都目黒区青葉台 1-19-14  
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210  
Eメール [hotnews@almec.co.jp](mailto:hotnews@almec.co.jp)  
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

---

Copyright 2009 ALMEC Corporation. All rights reserved.